



急性白血病 (*Acute Leukemia*) の治療環境向上

ファイザー 公募型 医学教育プロジェクト助成 社内審査プロセス

I. 背景

ファイザーの Global Medical Grants (GMG) は、医療関連団体が立案・実行するプロジェクト(ファイザーが注力する疾患領域における研究、医療の質を改善するプロジェクト、教育プロジェクト)を支援します。

この医学教育プロジェクト助成は、医療担当者の教育ニーズを支え、医療の質の向上及び人々の健康の増進のために、医療現場において生じている医学的・科学的知識のギャップ(ナレッジギャップ)を埋めるための“教育プロジェクト”を教育助成金として支援するものです。

助成金支援の対象となるプロジェクトについての具体的な内容や、審査／承認のスケジュール等は、本公募内に掲載しています。

プロジェクトの立案・実行は、申請団体の責任のもとに行い、ファイザーがそれらに関与することは一切ありません。

II. 応募資格

対象国:	日本
申請団体要件	<p>以下の施設・団体に所属し、その所属施設・団体として申請してください。個人として申請することはできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 大学、大学病院、地域中核病院、その他医療系の教育機関 • 医療系の学会・研究会等 • 医療系の財団法人・NPO 法人等 (疾患領域に関する活動を行っている法人、患者会、患者支援団体など) • 医師会・薬剤師会・歯科医師会 • その他医学教育を事業としている団体 (医学教育情報を提供している出版社など) <p>他施設／他団体と連携したプロジェクトの場合、すべての施設・団体が意味のある役割を果たし、その中でも申請する施設・団体が最も重要な役割を果たすこととします。</p> <p>応募の際には、各所属施設・団体からの了解を得てください。</p>

III. 公募詳細

公募開始日	2022 年 3 月 1 日
公募対象疾患	血液がん (急性白血病)
本公募の目的	<p>本公募は、血液がん (急性白血病 [急性リンパ性白血病: ALL、急性骨髄性白血病: AML]) 患者の診断・治療・包括的ケアや社会的サポートに関する治療環境の向上を促進する医療従事者向け医学教育的プロジェクトに対して、ファイザーがサポートすることを目的としています。</p> <p>成人急性白血病の治療成績は新規薬剤 (抗体薬、分子標的薬、免疫細胞療法) により向上し、急性白血病患者の予後は改善されています¹⁾⁻⁶⁾。その一方で、治療最適化のため新規薬剤に特徴的な副作用や造血幹細胞移植施行後に発症する合併症の適切な診断やリスク管理は治療成績や患者 QOL を改善する上で非常に重要な課題です⁷⁾⁻⁸⁾。</p> <p>このような近年の急性白血病治療の環境変化を鑑み、急性白血病患者の治療成績の向上および QOL の改善につながる教育プロジェクトを支援します。</p> <p>本公募では以下のような課題に取り組む教育プロジェクトを公募しますが、これら</p>

	<p>の課題に限るわけではありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 急性白血病の造血幹細胞移植に関連して発症する合併症のリスク改善につながる教育プロジェクト 急性白血病の治療によって発症する副作用管理による治療最適化や患者 QOL 改善につながる教育プロジェクト 急性白血病患者の治療と社会復帰の両立をめざした、主治医や産業医、就労支援に携わる専門職に対する教育プロジェクト 医療関係者の急性白血病領域に関する専門知識向上や診断・治療・ケア環境の施設差・地域差等の格差解消につながる教育プロジェクト 急性白血病の疾患特性や診断・検査・治療・緩和治療に対する患者の認知度・理解度向上につながる教育プロジェクト <p>教育プログラムの形式は、イベント、サテライトシンポジウム、ハンズオンセミナー、ワークショップ、オンラインコース、印刷物など、が考えられます。</p> <p>注意事項: 介入試験、臨床試験、非臨床試験、疫学研究等の研究を含むプロジェクトは本公募の対象外です。また COI の観点より、診療ガイドラインやガイダンス等の作成が含まれるプロジェクトも助成対象外とします。</p>
<p>教育プロジェクトの対象者 (受講者)</p>	<p>医師、看護師、薬剤師、検査技師、その他、急性白血病患者の検査・診断・治療・包括的ケアや社会的サポートに携わる医療従事者</p>
<p>本公募の助成額</p>	<p>プロジェクト 1 件あたりの上限額: 7,000,000 円</p>
<p>締切日等 スケジュール</p>	<p>公募開始日: 2022 年 3 月 1 日 申請締切日: 2022 年 6 月 30 日 (アメリカ東部時間) 審査結果通知: 2022 年 8 月 助成金は教育助成契約締結後に支払われます。 助成金を使用したプログラムの実行: 2022 年 11 月 ~ 2024 年 10 月</p>
<p>申請方法</p>	<p>申請はオンラインにて、ファイザー米国本社の申請システムよりお願いします。 www.cybergrants.com/pls/cybergrants/</p> <p>初めて申請をされる方は、まず“Create your password”をクリックし、アカウント登録を完了してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> “Are you replying to a Request for Proposal as part of the Competitive Grant Program?” の質問には Yes を選択してください。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ Competitive Grant Program Name の選択では、“2022 ONC JP: Improving Treatment Environment for Acute Leukemia”を選択してください。 ○ Primary Area of Interest の選択では“Oncology – Hematologic”を選択してください。 <p>申請に必要な情報を申請システムに英語で入力し、5 ページの「プロジェクト申請書様式」を参照の上、プロジェクト申請書 (Letter of Request/Agenda/Project Description) を作成しシステム内にアップロードしてください。</p> <p><u>* プロジェクト申請書 (Letter Of Request/Agenda/Project Description) のみ日本語での記載が可能です。</u></p> <p>システム上の不具合・エラー等が生じた場合は、ページ下部にある“Technical Questions”よりお問い合わせください。</p> <p>注意事項: 申請タイプを間違えて提出がなされた場合、または締め切り後に提出された場合は、その理由如何によらず、受領できないことを予めご了承ください。</p>
<p>お問い合わせ</p>	<p>ファイザー株式会社 MEG-J 事務局</p> <p>meg.japan@pfizer.com</p> <p>お問い合わせ際、件名に、今回の公募タイトル「急性白血病 (Acute Leukemia) の治療環境向上」をご記載ください。</p>
<p>助成契約</p>	<p>助成金が承認された場合、ファイザーと書面による助成金契約を結ぶ必要があります。契約の主要な条件を表示するには、こちらをクリックしてください。</p> <p>ファイザーはバランスが取れ、合理的であるように、且つファイザー/申請団体両者の目的を推進するために、これらの契約条件を定めました。助成金契約の手続きには多くのリソースが必要となります。そのため、申請を進める前に、所属施設・団体 (法務部門を含む) がこれらの条件を順守できることを確認してください。</p>
<p>審査</p>	<p>本公募により受け付けた助成申請は、ファイザーが最終的な助成金決定を行うために審査します。</p>
<p>その他 (注意事項等)</p>	<p>ご申請後の連絡 (採択結果含む) はメールにて行います。</p> <p>レビューに必要な追加情報・資料の提出などを依頼することがありますので、予めご了承ください。</p> <p>2022 年 11 月末までに入金手続きを完了する必要があります。申請を進める前に、所属施設・団体 (法務部門・経理部門を含む) における手順を事前にご確認ください。</p>

リファレンス

- 1) Kantarjian H et al. N Engl J Med 2016;375: 740–753.
- 2) Kantarjian H et al. N Engl J Med 2017;376: 836–847.
- 3) Kobayashi Y et al. Int J Hematol 2009;89: 460–469.
- 4) Pautas C et al. Bone Marrow Transplantation 2021;56: 1474–1477.
- 5) Cortes JE et al. Lancet Oncol 2019;20: 984–997.
- 6) Perl AE et al. N Engl J Med 2019;381: 1728–1740.
- 7) Kebriaei P et al. Bone Marrow Transplant 2018;53: 449–456.
- 8) Dohner H et al. Blood 2017;129: 424–447.

《プロジェクト申請書様式》

以下様式にてご作成ください。尚、記載は最大で 15 ページとします。フォントは MSP ゴシック、フォントサイズは 11 ポイントでお願いします。

プロジェクトの背景・目的	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの背景・目的を簡単に記載してください。 学習および期待される成果の観点から、プロジェクトで達成する予定の目的を列挙してください。
プロジェクトのニーズ評価	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトを実行する必要性を、現在の状況(プロジェクト対象者のレベルなど)をふまえ、記載してください。(定量的データがあれば望ましい)
プロジェクト対象者 (受講者)	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの主な対象者(受講者)を記載してください。対象者の数を記載してください。
プロジェクトプラン	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの具体的な実施方法や、マイルストーンをどのように設定しているのか記載してください。
プロジェクトの画期性	<ul style="list-style-type: none"> 応募プロジェクトの画期性について、他のプロジェクトや応募プロジェクトに先駆けて実施した(もしくは進行中の)プロジェクトがあれば、それらと比較して記載してください。
プロジェクトの評価・結果の測定	<ul style="list-style-type: none"> ナレッジギャップが解消されたかどうか、プロジェクトの評価を測定する指標を用い、どのように判定するのか、以下の項目を含め、記載してください。 <ul style="list-style-type: none"> 判定に使用するデータソース データの収集・分析方法 評価結果とプロジェクトとの因果関係を判断する方法 プロジェクトの予想成果を“対象者”の観点から定量化してください。(例: ベースラインから 10% 上昇する)
プロジェクト終了後の展開	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト終了後、成果・結果をどのように展開していくか、どのように教育を継続させていくことを考えているか記載してください。
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの開始日・終了日、及び全体のスケジュールを記載してください。

次頁へ

<p>その他、プロジェクトに関する追加情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> • その他、上記以外の情報があれば、記載してください。
<p>申請団体・プロジェクトメンバー</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 申請団体についての詳細を記載してください。 • プロジェクトメンバーを記載してください。
<p>予算</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 本プロジェクト申請書とは別に、申請システム内に直接入力してください • 弊社からの助成金は“個人費用”(懇親会費、一般参加者の交通費など)、プロジェクト終了後、申請団体の資産となりえるもの(パソコンおよび周辺機器、医療機器など)、医薬品の購入に使用できません。 • 団体・施設へのオーバーヘッドは、総予算の 28% を上限に計上することができます。 • 消費税込みで入力してください。